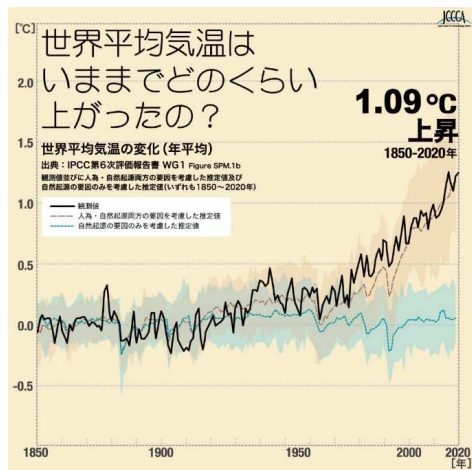

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略 概要版

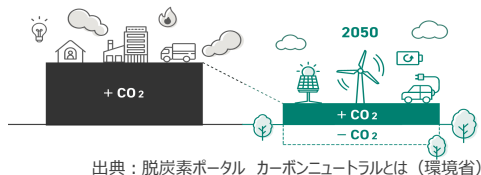
1. 戦略の背景と安城市が目指すもの

▶地球温暖化対策の強化が求められている



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

- 異常気象が発生しやすくなったり、生態系等への影響が報告されるなど、地球温暖化の影響が顕著になってきている。
- パリ協定の採択など、地球温暖化対策への機運が高まっている。（世界はカーボンニュートラルへ）



▶安城市の状況

- ゼロカーボンシティ表明（令和4年5月）
- 本市は、地方公共団体実行計画（区域施策編）及び地域気候変動適応計画を、安城市環境基本計画に包含させ、地球温暖化対策を進めてきた。

今までよりも地球温暖化対策を
より力強く推進するため、
具体的施策をまとめた計画が必要

▶戦略の目的

安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまち（ゼロカーボンシティ）を目指します。
そのために戦略を策定してより力強く地球温暖化対策を実行するため**具体的な取組み**を示します。
これらの取組みにより、二酸化炭素排出量の削減とともに、地域経済の活性化や快適で豊かな暮らしを実現し、安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまちを目指します。

▶安城市が目指すゼロカーボンシティの姿



快適な暮らし

住宅の省エネ化が進みました。高断熱で省エネな家は、外の暑さ・寒さを感じにくく、化石エネルギーに頼らずに快適に過ごしています。
夏の暑い日は、クールシェアスポットで過ごします。
食べきれない食品があれば必要な人に譲って、笑顔シェアしています。

便利な暮らし

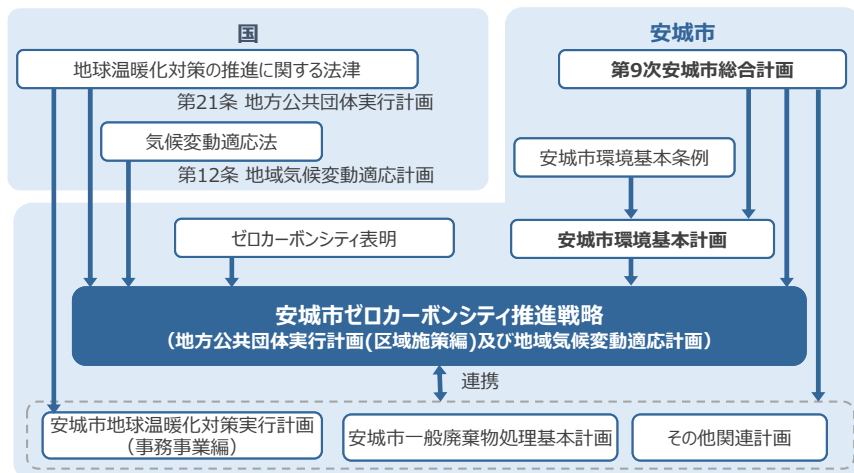
電子化により、自宅で各種手続きができます。外出先の渋滞状況をあらかじめ確認できるので、イライラも減ります。

- ：省エネ対策
- ：創エネ対策
- ：二酸化炭素の吸収
- ：気候変動への適応策

2. 戦略の位置づけと二酸化炭素排出量の削減目標

▶ 戦略の位置づけ

本戦略は、地球温暖化対策の推進に関する法律及び本市のゼロカーボンシティ表明等に基づき、中長期的に市域の脱炭素化を目指すものです。施策については、本市の他の計画とも連携を図りながら取り組んでいきます。



▶ 戦略は緩和策と適応策の2本柱

温室効果ガス排出量を削減するための「**緩和**」と、気候変動によって既に起きては始めている被害を防止・軽減するため「**適応**」に取り組みます。

▶ 目標年度（計画期間）

本戦略の目標年度は**2030年度**です。

▶ 二酸化炭素排出量の削減目標

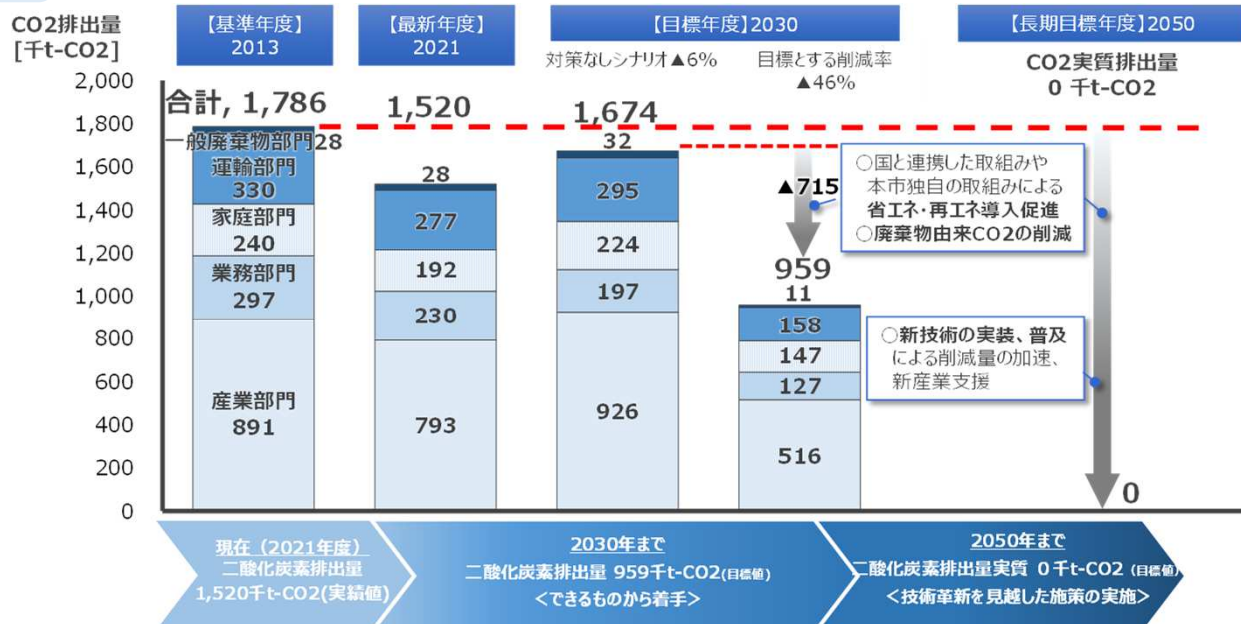
2030年までに2013年度比で**46%以上**の削減を目指します。

基準年度から最新年度では減少していますが、何も対策しないと経済成長により今後排出量が増えるおそれがあります。そのため、省エネ・再エネ導入等、出来るものから着手し、46%削減を確実に達成します。

▶ 戦略の対象は二酸化炭素

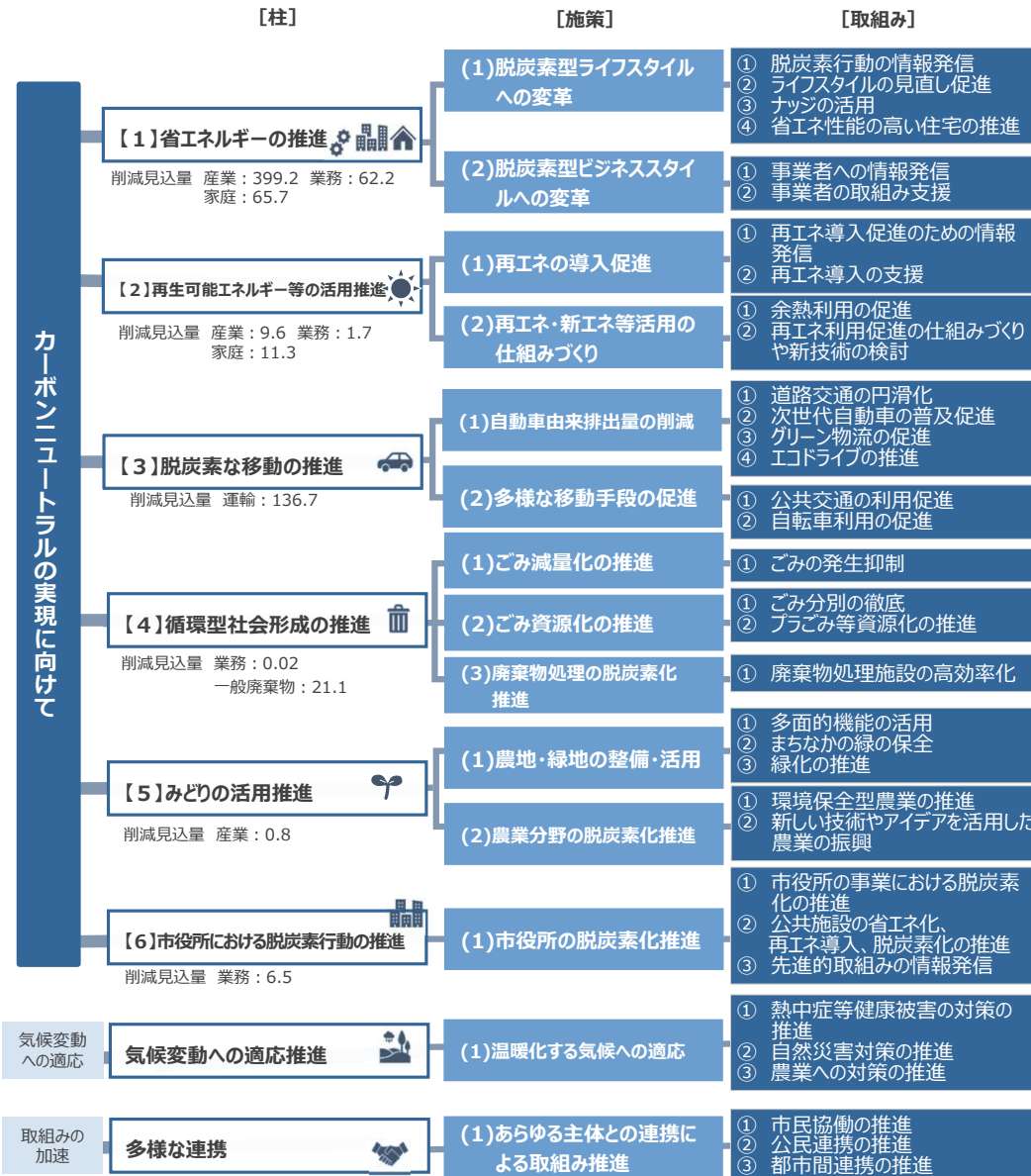
温室効果ガスの主成分である二酸化炭素を対象として、5部門に分けて排出量の削減を行うこととしました。

部門	排出源
産業	製造業、農林水産業、建設業・鉱業のエネルギー使用に伴う排出
業務	事務所・ビル、商業・サービス業等のエネルギー使用に伴う排出
家庭	家庭におけるエネルギー使用に伴う排出（自家用車は運輸部門で計上する）
運輸	自動車、鉄道におけるエネルギー使用に伴う排出
一般廃棄物	プラスチックごみ等の焼却に伴う排出



3. ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略

▶ 戦略体系図



削減見込量の単位：千t-CO2

各柱の説明には、SDGsの17のゴールのうちおもに該当する目標をアイコンで示しました。



【1】省エネルギーの推進

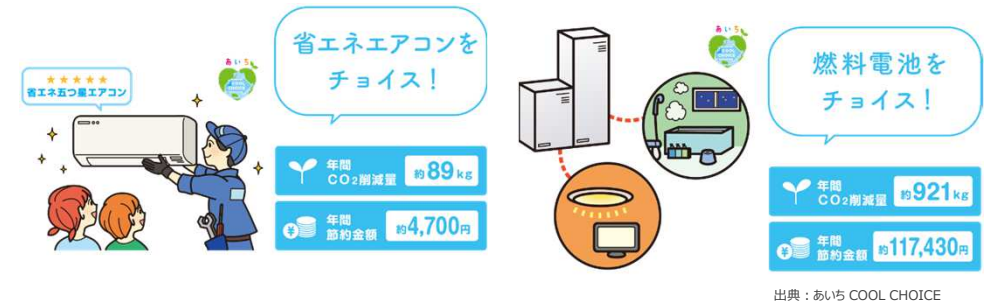
ゼロカーボンシティの実現に向けて、日常生活や事業活動において、一人ひとりがエネルギー使用量を削減する必要があります。省エネ設備や機器類をうまく取り入れることで、快適で豊かな生活や事業活動を行いながら脱炭素につながるような行動を推進します。

【施策】

- 脱炭素型ライフスタイルへの変革
- 脱炭素型ビジネススタイルへの変革

削減見込量（千t-CO2） 産業：399.2
業務：62.2
家庭：65.7

▶ 脱炭素につながる具体的な行動を発信したり、ライフスタイルを変革する機会を提供します



【2】再生可能エネルギー等の活用推進

日常生活や事業活動においては、エネルギー使用量をゼロにすることはできません。省エネ対策によりエネルギー使用量を減らしたうえで、どうしても必要なエネルギーは再生可能エネルギー等に置き換えて、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

【施策】

- 再生エネの導入促進
- 再生エネ・新エネ等活用の仕組みづくり

削減見込量（千t-CO2） 産業：9.6
業務：1.7
家庭：11.3

▶ 再生エネ導入促進のための情報を発信します



3. ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略

【3】脱炭素な移動の推進

私達の暮らしは、自動車が普及して便利になった反面、化石燃料を使用して二酸化炭素を発生させるだけではなく、渋滞や騒音等の社会問題や運動不足等の問題も生じてさせています。安全で快適なまちであるために、移動も脱炭素化を推進します。

【施策】

- 自動車由来排出量の削減
- 多様な移動手段の促進

削減見込量（千t-CO2） 運輸：136.7

▶自動車由来の排出量の削減を進めます



【4】循環型社会形成の推進

ごみ処理の過程では多くのエネルギーを使用しています。ごみの減量化、資源化により、廃棄されるものをできるだけ少なくするというような循環型社会の形成を促進します。また、廃棄物処理施設の高効率化により、エネルギーの使用量を減らします。

【施策】

- ごみ減量化の推進
- ごみ資源化の推進
- 廃棄物処理の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO2） 業務：0.02
一般廃棄物：21.1

【5】みどりの活用推進

農地は作物を生産する場であるとともに、生き物のすみかであったり、四季の変化で目を楽しませてくれたり、あるいは豪雨時の水害を緩和する等、多面的な機能をもっています。農業が盛んであるという本市の特徴を活かしながら、温暖化対策やスマート農業を進めていきます。

【施策】

- 農地・緑地の整備・活用
- 農業分野の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO2） 産業：0.8

【6】市役所における脱炭素行動の推進

市役所も本市の1事業者です。市民、事業者の意識改革、行動変容につながる取組みを進めるとともに、市役所自らも脱炭素につながる姿勢や、行動を示すことで、ゼロカーボンシティ実現を先導します。

【施策】

- 市役所の脱炭素化推進

削減見込量（千t-CO2） 業務：6.5

気候変動への適応推進

地球温暖化の進行による気候変動の影響は既に現れています。ゼロカーボンシティの実現を目指すとともに、気候変動に対して私たちの暮らしを適応させていくことで市民が安全で健康に暮らせるまちの形成を推進します。

【施策】

- 温暖化する気候への適応

【戦略全般】多様な連携

市内の各主体との連携のほか、市域を越えた連携により、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

【施策】

- あらゆる主体との連携による取組み推進

進捗管理

市が実施する事業をもとに「アクションプラン」を作成・公表します。

「アクションプラン」の実施状況を取りまとめた「環境報告書」を作成し、安城市環境審議会へ報告し、進捗状況を評価していただきます。必要に応じて事業の見直しを行い、本戦略の実効性を高めていきます。

推進体制

安城市環境審議会

市民、事業者、有識者から構成されています。事業の取り組み状況の報告を受け結果を評価します。

報告

二酸化炭素排出量、事業の実施状況等を報告

評価

評価を受けて事業を見直す

安城市

ゼロカーボンシティの実現に向けて取組みを進めます。

事務局

担当課

連携

連携

国、地方公共団体
ゼロカーボンシティの実現に向けて情報を提供・共有し、取組みを進めます。

市民・事業者
ゼロカーボンシティの実現に向けて取組みを進めます。

令和7年3月
安城市 環境部 環境都市推進課
カーボンニュートラル推進室

〒446-8501
安城市桜町18番23号
TEL : 0566-76-1111 (代表)
FAX : 0566-76-1112
